

— 地域とともに生きる建設コンサルタント —

国土建設コンサルタント 株式会社

所在地：〒310-0903 茨城県水戸市堀町 1133-18
 TEL : 029-253-0585
 FAX : 029-253-5327
 URL : http://www.kokudokc.co.jp/
 従業員：40名
 創業：1977年7月
 代表者：取締役 会長 関 輝喜
 代表取締役社長 市毛千秋



創業40周年記念写真(2017.7)



本社社屋



那珂川の清掃ボランティア



公園の定期的な清掃活動

自社紹介

茨城県唯一の建設コンサルタンツ協会会員です。茨城県では、測量業を主体とし起業する会社が多い中、1977年土木設計を主な社業として4人の技術者で創業しました。

県下ではまだ少なかった技術士の資格を創業者(会長)が、社長時代に社員の前で資格取得を宣言し、一年後の1991年に取得しました。

その2年後、1993年に会社の技術のさらなる向上と、県内のCivil Engineerの社会的地位向上をめざし建設コンサルタンツ協会へ入会しました。

創業から12年後、昭和から平成の改元を機に営業部門の強化を計り、測量部を独立した部とし、その後も補償調査部、農業土木部門及び地質調査部門を加え、建設コンサルタント業、測量業、補償コンサルタント業で国土交通省・農林水産省・茨城県及び県内市町村を主な受注先として、地域インフラ整備の一角を担って来ました。

現在は、設計の知識を生かし、維持修繕に関わる点検業務や、長寿命化計画策定業務にも取り組み、成果

を上げております。

また現在の目標は、CIMを睨んだIT化に対応すべく、UAV・レーザースキャナー等を使用して取得したデータを活用し、3Dによる土木設計をめざし取り組んでいます。

働く環境の整備

2018年、東日本大震災の影響を受けた旧社屋の建て替えを行いました。折しも国会では、働き方改革関連法「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、当社でも「働く環境の整備3ヶ年計画」をスタートさせました。

漫然と行ってきた納品前の長時間労働を見直し、時間の計画的な有効利用を常に考えることを習慣づけ、効率的に仕事をこなし、技術の研鑽やコミュニケーションを深める時間の確保を推進しています。

また、2019年から完全週休2日制を取り入れ、仕事と余暇のバランスをとり、集中した仕事で成果を上げる様に取り組んでいます。



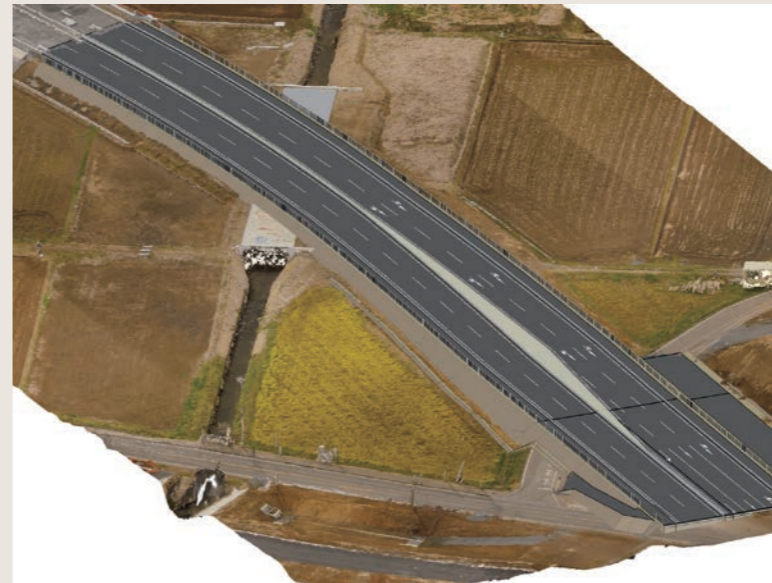
流量観測



UAVによる3Dデータ取得



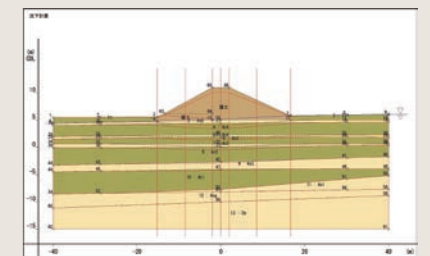
道路施設点検及び補修設計



3D設計データ



橋梁点検及び長寿命化計画策定



地質調査(地盤解析)

女性の活躍

女性技術者が少ない業界ですが、技術に男女の区別は有りません。

経験を積み、RCCMの資格を取得し業務と後輩の指導に活躍している女性社員。

土木に関しては未経験で入社し「知らないことを知ることが面白い」と女性目線でのアイデアを取り入れた設計などで活躍しています。

真摯に取り組めば「面白い」を体感できる環境を整え、提供する事で女性の活躍を応援しています。

i-Construction

ご存知のように、国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指しi-Constructionの取り組みを推進しております。

茨城県でも独自の取り組みとして2018年にICT活用モデル工事の実施要領を改訂し、新たに「チャレンジいばらきI型・II型」を導入しました。

I型は、県内測量業者や建設コンサルタント業者のICT分野への参入を促すための方式、II型は3次元データ活用についての普及、拡大を図る内容となっております。

同年県内で初めて「ICT活用モデル事業」として業務委託が発注され当社で受注しました。UAVを使用したの起工測量と、ICT施工に使用する3D設計データを作成し納品しました。その後、施工会社様からの依頼により出来形測量を実施し、ヒートマップの作成まで行いました。

これから

茨城県内でも建設業を含め就業者の数は減少しており、技術者の高齢化も進んでいます。

当社も例外ではなく、それらに対応すべく積極的にIT技術を取り入れ、作業の効率化、省力化を進めていきたいと考えております。

また、近年多発している異常気象による地域災害にも、技術士やRCCM等の資格に裏付けされた知識や技術で、地域の守り手として、地域に貢献できる企業を目指していきます。(文：取締役専務 比企利夫)